

802.11ah推進協議会(AHPC) 団体紹介

2026年 2月

802.11ah推進協議会

■ 発足

2017年5月にIEEE802.11ahとしての標準化が完了したことを受け、
2018年に11月に日本国内での利用実現に向け、有志企業・団体が
自主的に取り組む場として、「**802.11ah推進協議会(AHPC)**」を設立。

■ 趣旨

IEEE標準規格**802.11ah**の国内利用拡大に向け、
関係する企業・団体等で活動を行うことを目的とする。

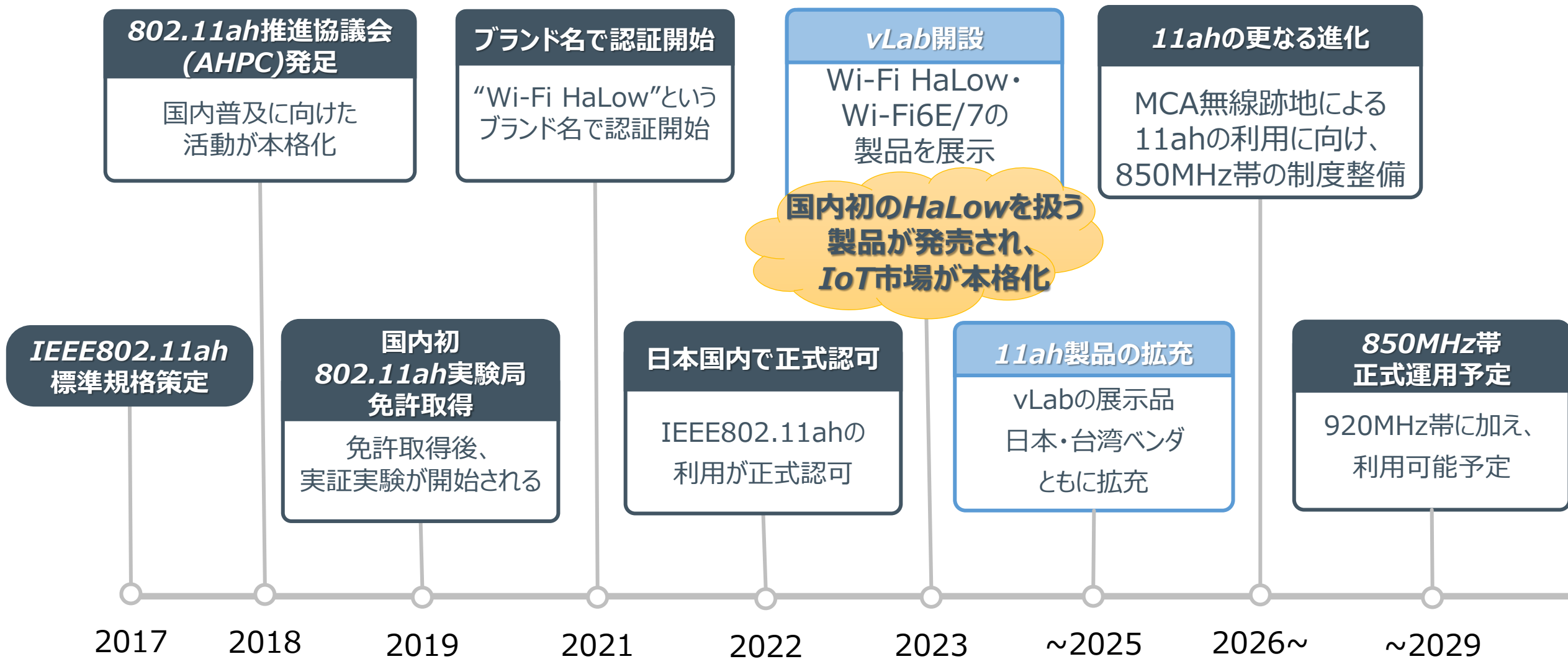
■ 会員数

通信キャリア、メーカー・Sier、学術団体他
より業界横断で

90 社・団体

※2026年1月5日 現在

IoT市場の成長とともに進化するWi-Fi HaLow



11ahの市場深耕・拡大に向けて様々な企業・団体が取組みを進めています

国内企業

 アイテック阪急阪神 株式会社 アイテック 阪急阪神	 インターネット イニシアティブ	 エイチ・シー・ネットワークス	 NTT西日本	 NTT東日本
 KDDI	 コンテック	 サイレックス・テクノロジー	 シスコシステムズ	 センチュリー・システムズ
 D-Link Japan	 日星電気	 日本ヒューレット・パッカー	 ビート・クラフト	 ビーマップ
 Fujitsu Client Computing 富士通クライアント コンピューティング	 フルノシステムズ	 マイクロサミット	 丸紅情報システムズ	 村田製作所
 明成通信	 アニモテック	 エヌ・ティ・ティ・ ブロードバンドプラットフォーム	 セーバー	 ソニーセミコンダクタ ソリューションズ
 DXアンテナ	 日本電気	 富士通ネットワー ソリューションズ	 ブルーインフラ ストラクチャー	 1FINITY モバイルテクノ

海外企業・団体

 AsiaRF	 ASKEY Computer	
 ALFA NETWORK	 WNC Corporation	
 Shanghai SUNMI Technology	 Newracom	
 Morse Micro	 AcSip Technology	
 Arcadyan Technology	 Quectel Wireless Solution	
 SystemBase	 Industrial Technology Research Institute	 Cloud Computing and IoT Association in Taiwan

802.11ah推進協議会

会長

会長：小林忠男（一般社団法人無線LANビジネス推進連絡会）

監事：小川大豪（エイチ・シー・ネットワークス株式会社）

アドバイザー：竹田義行（元総務省）

運営委員会

会員企業の代表で運営委員を構成

川地 耕二（株式会社フルノシステムズ）
 小中 陽介（富士通クライアントコンピューティング株式会社）
 小林 忠男（一般社団法人無線LANビジネス推進連絡会）
 杉野 文則（株式会社ビーマップ）
 竹本 正志（株式会社ビート・クラフト）
 土戸 研一（東日本電信電話株式会社）
 東郷 大輔（株式会社メガチップス）
 長坂 康平（株式会社村田製作所）
 Frank Lin（Newracom, Inc.）
 北條 博史（一般社団法人無線LANビジネス推進連絡会）

運営会等で活動報告と検討事項の
提案と協議～承認

運営会等で活動報告と検討事項の
提案と協議～承認

国際アライアンスTG

リーダー：小林忠男

- ❑ 日本企業と台湾企業間のビジネスマッチングの促進
- ❑ 日本国内における市場情報や実証実験情報の共有
- ❑ 11ahパイロットプロジェクトの企画と実施
- ❑ 情報共有と技術力向上に向けた企画と実施

v Lab活用TG

リーダー：土戸研一

- ❑ vLabを利用した802.11ah普及・広告活動
- ❑ vLab展示物の定期的なリニューアルの企画と実施
- ❑ 技術検証や相互接続検証等の実施
- ❑ vLabを活用したイベント企画と運営

周波数拡大・機能向上TG

集団推進体制

- ❑ 850MHz帯の獲得活動と総務省作業班参加
- ❑ 技術標準の更新と新技術の導入に向けた活動
- ❑ 11ahの技術検証とフィールドにおけるユースケースの具現化
- ❑ 法令整備に向けた活動

広報・普及TG

リーダー：東郷大輔

- ❑ ウェブサイト・SNSやを通じた802.11ah情報発信
- ❑ 展示会出展など各種イベント・セミナー対応
- ❑ 製品ポートフォリオ、ユースケースブックレットなどコンテンツ製作
- ❑ セミナー・ワークショップなどの企画と開催

情報共有・活動連携

活動主体	活動内容
国際アライアンスTG	<p>グローバル連携の深化によるビジネス創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アライアンス深化：COMPUTEX2026での共同ワークショップやフォーラム開催、東南アジア市場への共同展開 ・850MHz台湾トライアル：新竹・竹北・台南の3拠点でのPoC実施とホワイトペーパー公開 ・ビジネスマッチングプラットフォーム：プラットフォームを本格稼働させ、製品・PoC情報を可視化 ・国際標準連携：Wi-Fi AllianceやWBAとの連携を通じ、国内制度化への技術支援を強化
vLab活用TG	<p>プライベートワイヤレスの発信・実証拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラボ価値向上：柔軟な見学者対応と、人材育成や技術者交流を目的としたラボ活用の拡充 ・展示リニューアル：静態展示品の入替、LTE不感地帯対策やカメラ×11ah等の動態展示を継続的に更新 ・技術開発・社会実装：ラボ内への850MHz帯実証環境構築と、制度化後を見据えたユースケース展示の検討 ・相互接続と人材育成：相互接続試験スキームの再整理と、マルチベンダー環境の信頼性を担保
周波数拡大・機能向上TG	<p>850MHz帯の制度運用開始と普及に向けた技術・制度整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品・技術開発：干渉回避技術（SAWフィルタ等）の開発と850MHz帯対応製品ラインナップの拡大 ・制度対応：高出力区分で必要となる「簡易無線局（登録局）」の申請手続きの試行 ・実証・PoC実施：2026年2月～3月の台湾トライアル実施や、新たなユースケース開拓 ・長期的ロードマップ：2026年度上期からの制度運用開始に向けた準備と、将来的な8MHz幅運用への道筋作り
広報普及TG	<p>市場阻害要因の払拭と健全な市場育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知拡大：ワイヤレスジャパン等の展示会やSNSを通じ、未認知層へのアプローチ強化 ・課題払拭と信頼性の向上：台湾トライアルの実績公開や850MHz帯活用事例セミナー実施 ・市場環境の整備：技適違反製品への監視・注意喚起による国内メーカーの保護 ・エコシステム可視化：モジュール、セットメーカー、SIer等参入企業一覧を公開し連携を促進

■ 目的

11ahを体感してもらい、導入やビジネス化を検討する場としてNTT中央研修センター内に開設した、協議会が運営する施設。
国内外会員企業の製品やユースケースの動態展示を実施。



①イントロダクションゾーン



②ユースケースゾーン



新時代ワイヤレス(New Era Wireless)の発信地

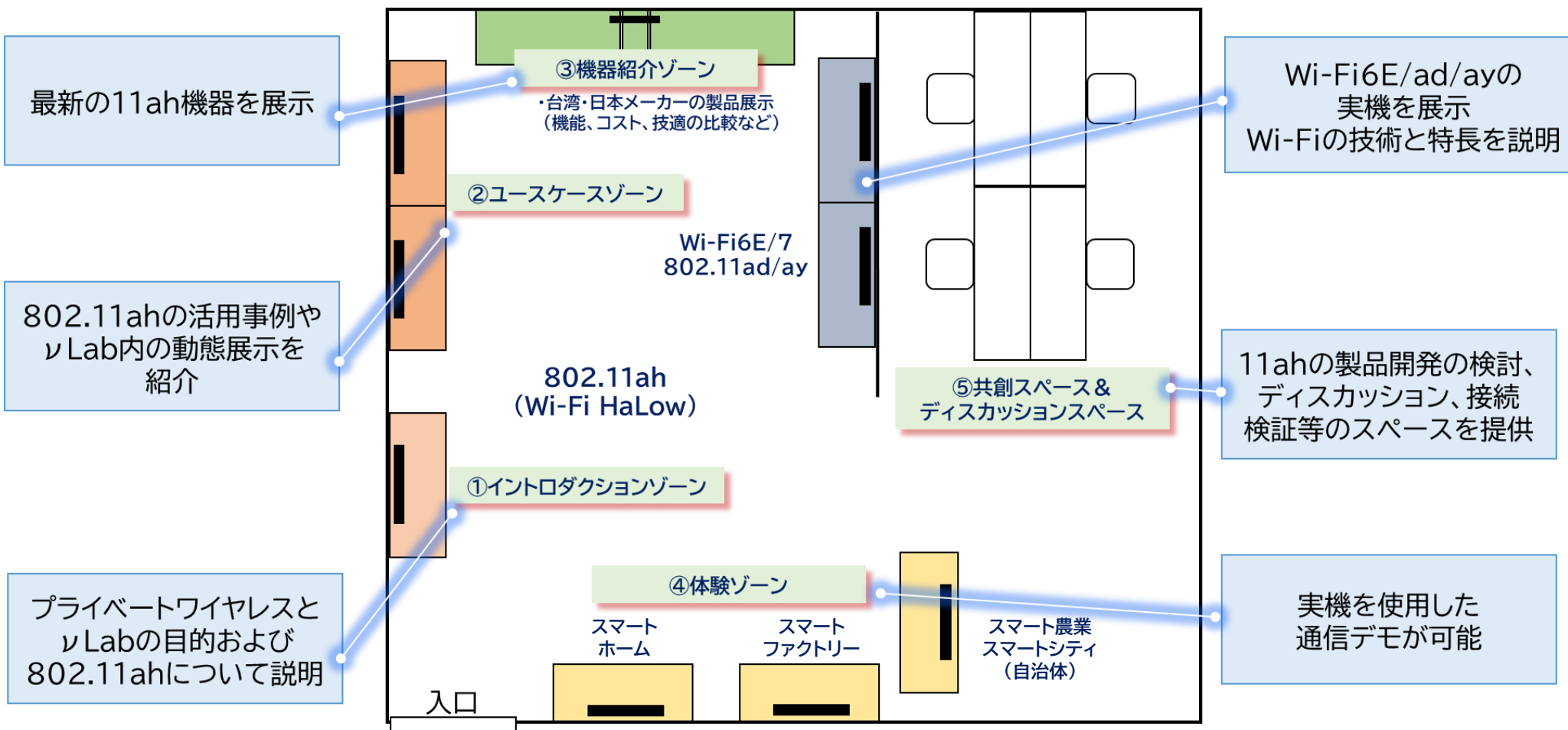
③機器紹介ゾーン



④体験ゾーン



IEEE802.11ahとWi-Fi6E/7をメインにした 技術的特徴およびユースケース例を展示しています



AHPC 802.11ah推進協議会